



学校だより

9月号

平成29年8月31日
横浜市立善部小学校
校長 小澤 紀子

夏！体験！

学校長 小澤 紀子

今年の夏は雨が降らない日が少なく比較的涼しい日もありました。梅雨時には雨が少なくダムの渇水の映像も何度か目にしたのに、いったん雨が降れば豪雨・雷雨になることもしばしばニュースにのぼりました。異常気象・地球温暖化という心配な言葉が頭にかぶ夏でした。それでも子どもたちにとっては楽しい夏休みであることには変わりなく、満足そうな表情ともう少し夏休みが続いてほしいという表情が入り混じった8月28日の初日でした。

夏休み水泳教室は、たくさんの子が練習に参加し、本校で行われた旭区水泳大会に出場しました。皆、自己ベストをめざして泳ぎました。さらに友達を応援し、他の学校との交流を深める機会となりました。そして、50M自由形の旭区代表に選出された5年の政野元紀さんが、横浜国際プールで行われた横浜市児童水泳大会に出場しました。旭区みんなの声援を受けて、力強く泳ぎ、見事に自己ベストを出すことができました。

地域の方々が中心になって行われる夏休み学習教室は、今年時間の変更があり、午後の開催となりました。今年も100名を超す参加があり、まちの先生とともに勉強し、レクで楽しみ、本の読み聞かせに目を輝かせました。まちの先生方から「皆集中して勉強して立派だ」という感想をいただきました。いろいろ活動を工夫してくださり、運営・準備等にご協力いただきました事務局の皆様、まちの先生方、ありがとうございました。

毎年希望者が多いジュニアボランティアには、今年も5・6年生が参加して夏休みに活動しました。8月1日には旭公会堂で就任式が行われ、テレビ局のインタビューに答えていました。その後の夏休みの活動にも取材が入り、ケーブルテレビで放送されたそうです。民生委員や児童委員のみなさんにお世話になっています。地域でのさまざまな経験を通して子どもたちはたくさんのことを学んでくれると思っています。本当に幸せなことだと思います。地域の施設や保育園を訪問したり、この後、赤い羽根共同募金や福祉まつりに参加したりします。

いじめについては、学校全体でいじめをゆるさない取組を行っています。子どもたちもさまざまな考えをもち発信しています。6月には旭区の国際平和スピーチコンテストが旭公会堂で行われ、6年の橋本花菜さんが「よりよい未来のためにいじめをなくす」という題でスピーチを行い、自分たちができることとして、人との違いを認め合い、差別やいじめをなくしていこうと呼びかけました。「横浜子ども会議」では、「もう一度、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会をつくろう」というテーマで、まず6年池田敬亮さん・山田果莉那さん・角嶋沙姫さんが南希望が丘中学校ブロックで話し合い、さらに旭区全体での話し合いに池田さんが参加します。いじめをなくす取組を通して、主体的に判断・行動する姿をめざし、後期に行われるスマイル班でのこども会議につなげていきます。

夏休み前に全校児童で秒読みを撮影した「みちびき3号機」が無事に打ち上げられました。何回も打上げ延期になり心配されましたが、8月19日(土) 14:29 H-IIA ロケット35号機により打ち上げられました。何より善部小学校全校児童の「265！」が輝いていました。

進んで行動する。めあてをもって努力する。友だちと楽しさや喜びを共有する。自分の考えをもち伝える。時にはゆっくり休む。思いきり遊ぶ。一人ひとり違う、そんな夏休みだったようです。